

ピメトロジン剤（チェス水和剤）によるキュウリ， トマトのアブラムシ類とオンシツコナジラミの防除

園芸試験場

1 取り上げた理由

キュウリ， トマトのアブラムシ類とオンシツコナジラミに対する新しい系統の薬剤として，天敵等有用昆虫に対する影響が少ないチェス水和剤の実用性について検討した結果，優れた効果が認められたので，参考資料とする。

2 参考資料

1) 薬剤名 ピメトロジン剤（商品名：チェス水和剤）

- a 有効成分：ピメトロジン 25%
- b 製剤（外観）：粉末
- c 毒性：普通物，魚毒性：A類
- d 安全使用基準：収穫前日まで，4回以内

2) 対象病害虫

- a キュウリのアブラムシ類
- b トマトのオンシツコナジラミ，アブラムシ類

3) 使用方法

- a 使用時期：収穫前日まで
- b 使用濃度：3,000倍
- c 使用方法：散布

3 利活用の留意点

- 1) 既存の薬剤に感受性が低下した害虫にも有効であり，オンシツツヤコバチなどの天敵類とも併用できる。
- 2) 本剤は殺虫効果発現まで時間がかかり，特にオンシツコナジラミでは成虫や蛹などに対する殺虫効果は期待できないので，成虫の少ない発生初期に散布する。
- 3) 本剤は水溶性フィルムに少包装化されているため，濡れた手で触らない。
- 4) 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意する。
- 5) 製剤は吸湿性があるので，湿気には十分注意し，使い残りは外袋の口を固く閉じて保管する。

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

新農薬による病害虫防除法（平成5年，平成6年）

表－1 キュウリのワタアブラムシに対する防除効果（平成5年）

供試薬剤	1葉あたりの寄生成幼虫数							薬害
	散布直前	3日後	7日後	10日後	14日後	21日後	28日後	
チェス水和剤	36.7	32.1 (24)	0.6 (0.1)	1.1 (0.2)	6.9 (1)	5.1 (1)	3.3 (2)	－
アトマイヤー水和剤	47.1	0 (0)	0.0 (0)	0.8 (0.1)	5.6 (0.6)	21.3 (2.2)	13.9 (5.8)	－
無散布	34.6	127.7 (100)	398.8 (100)	554.4 (100)	657.3 (100)	700.3 (100)	174.8 (100)	

()内は補正密度指数

表－2 トマトのオンシツコナジラミに対する防除効果（平成6年）

供試薬剤	調査項目	散布直前	5日後	11日後	21日後	薬害
チェス水和剤	3齢幼虫以下	119.9	15.7	6.7	6.0	－
	4齢幼虫+蛹	62.8	28.6	4.2	3.7	
	羽化殻	0	19.3	33.9	38.3	
	合計	182.7	63.6	44.7	48.0	
アプロード水和剤	3齢幼虫以下	116.4	22.8	3.4	1.1	－
	4齢幼虫+蛹	69.5	28.2	2.6	0.1	
	羽化殻	0	0.1	0.1	0.3	
	合計	185.9	51.1	6.1	1.5	
無散布	3齢幼虫以下	93.8	42.8	26.6	43.2	
	4齢幼虫+蛹	70.6	53.3	14.2	10.6	
	羽化殻	0.3	31.5	62.6	56.4	
	合計	164.7	103.3	103.4	110.1	

※本剤の価格は500gで6,000円前後

包装単位は335g（水溶性フィルム少包：67g×5袋），500g（同：100g×5袋）の2種類